

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の変項で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

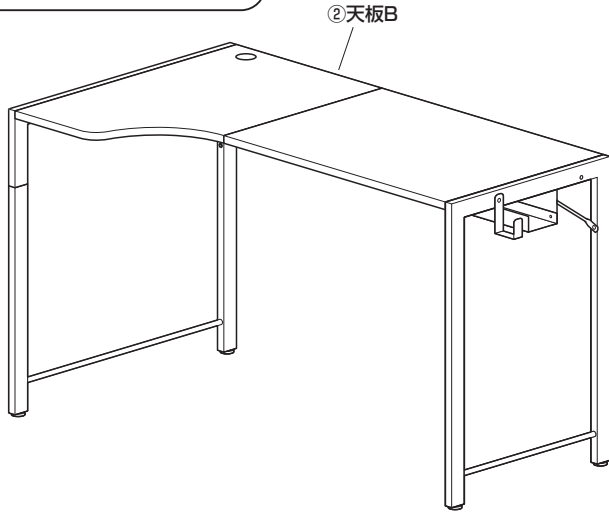
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの……
手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をお勧めします)

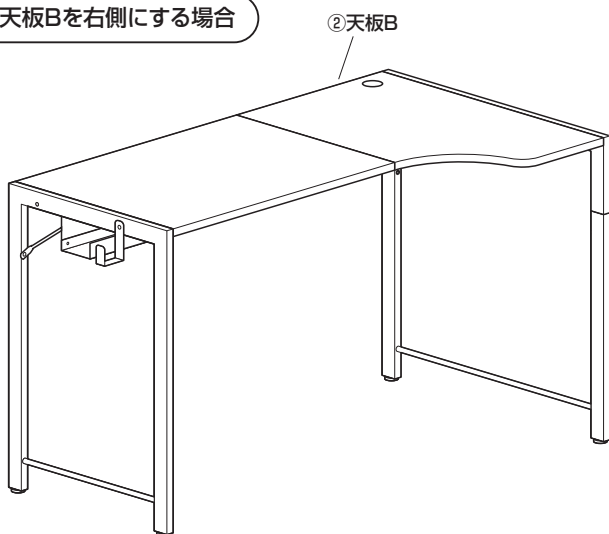
完成図

※このデスクは組立て方法によって下図の様に2通りの
使い方ができます。用途に合わせて組立ててください。

天板Bを左側にする場合

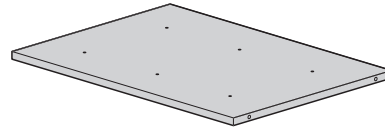


天板Bを右側にする場合

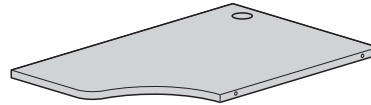


組立て部品

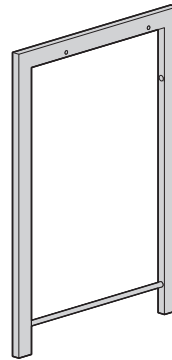
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(100-DESKH074Mなど)と下記の部品番号(①～⑳)と部品名(ボルトAなど)を
お知らせください。



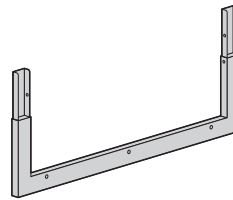
①天板A×1枚



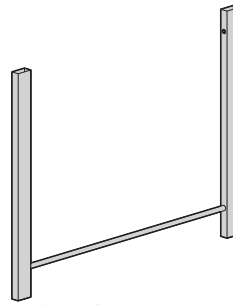
②天板B×1枚



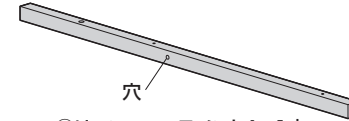
③サイドフレームA×1個



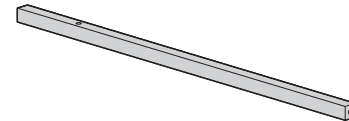
④サイドフレームB×1個



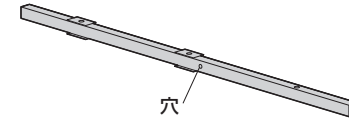
⑤レッグフレーム×1個



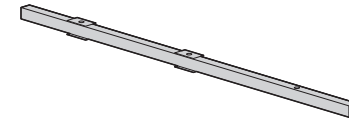
⑥リーンフォースメントA×1本
※側面にも穴のある方がAです。



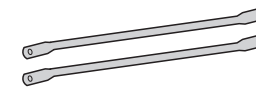
⑦リーンフォースメントB×1本
※側面に穴のない方がBです。



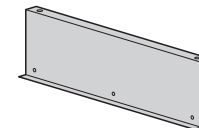
⑧リーンフォースメントC×1本
※側面にも穴のある方がCです。



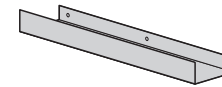
⑨リーンフォースメントD×1本
※側面に穴のない方がDです。



⑩ステー×2本



⑪タクトレイA×1個



⑫タクトレイB×1個



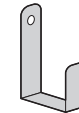
⑬丸棒×4本



⑭アジャスター×4個



⑮配線孔キャップ×1個

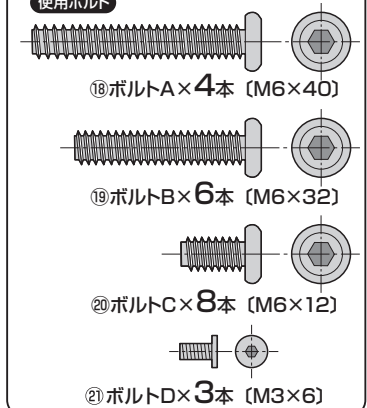


⑯フック×1個



⑰ナット×3個

使用ボルト



㉒六角レンチ(4mm)×1本



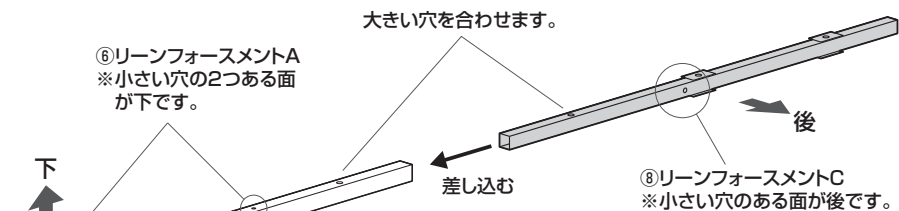
㉓六角レンチ(2mm)×1本



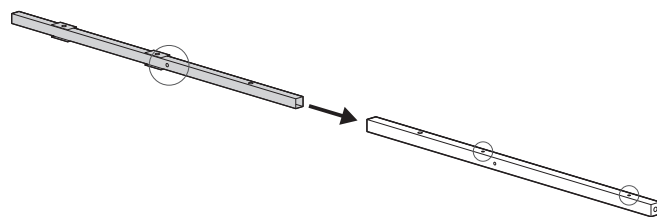
㉔スパナ×1本

1 リーンフォースメントAにリーンフォースメントCを差し込みます。

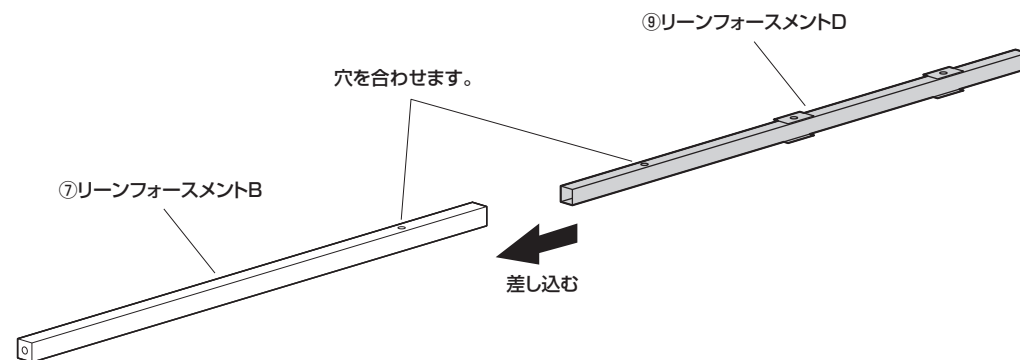
※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。



天板Bを右側にする場合の参考図



2 リーンフォースメントBにリーンフォースメントDを差し込みます。



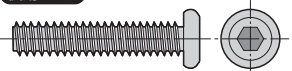
3 天板AにリーンフォースメントCを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

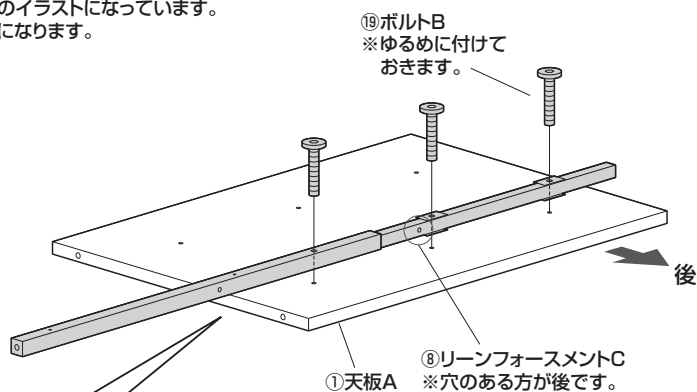
注意

ボルトBを使用してください。
ボルトAを間違えて使用すると
天板を破損します。

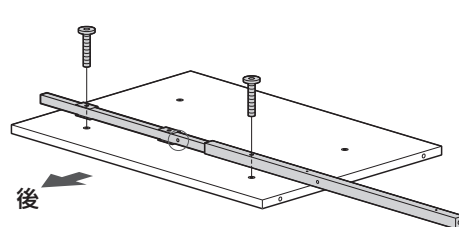
使用ボルト



⑯ボルトB (M6×32)

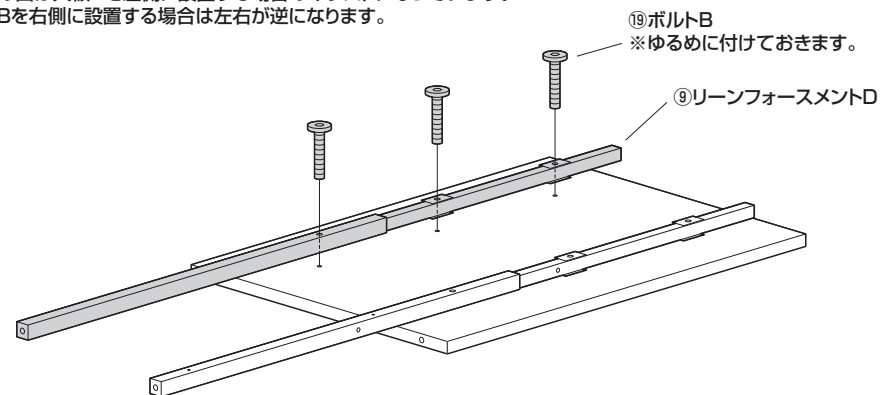


天板Bを右側にする場合の参考図



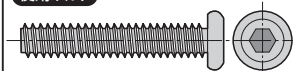
4 天板AにリーンフォースメントDを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

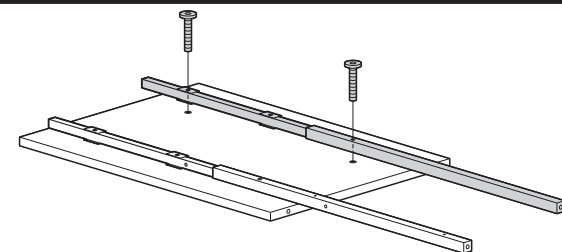


天板Bを右側にする場合の参考図

使用ボルト

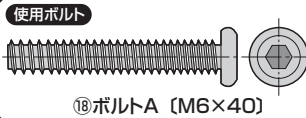
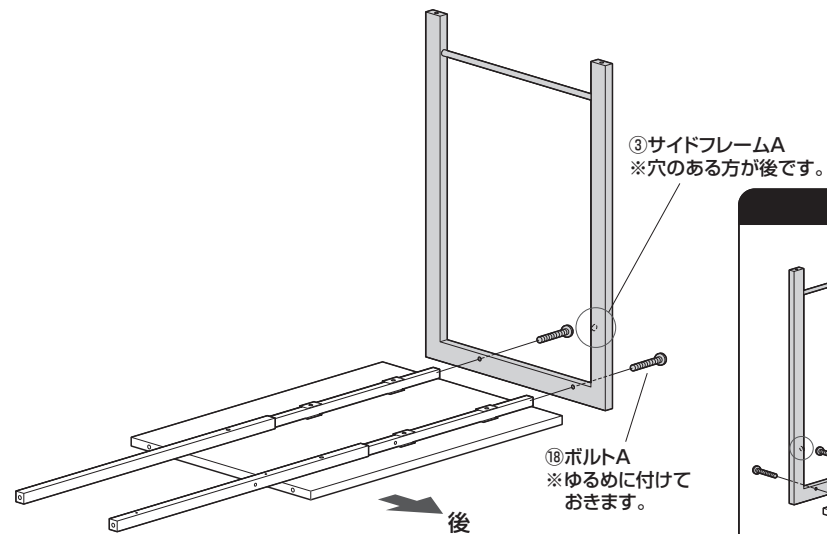


⑯ボルトB (M6×32)

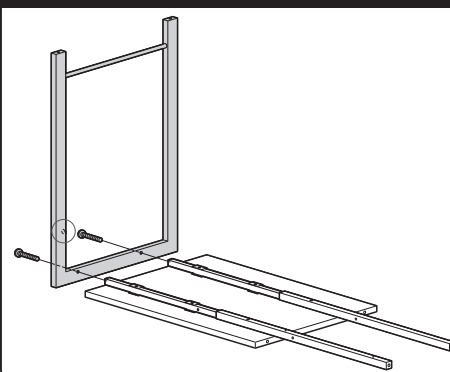


5 リーンフォースメントC、リーンフォースメントDにサイドフレームAを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

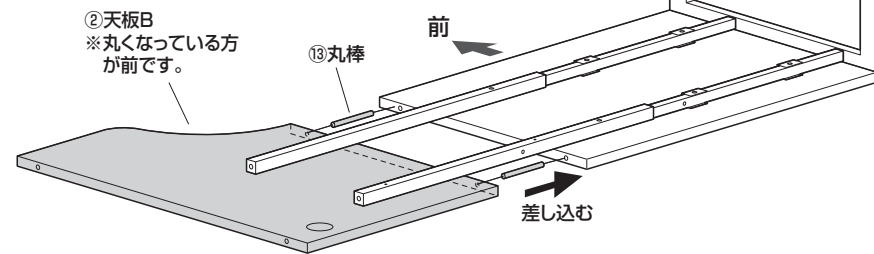


天板Bを右側にする場合の参考図

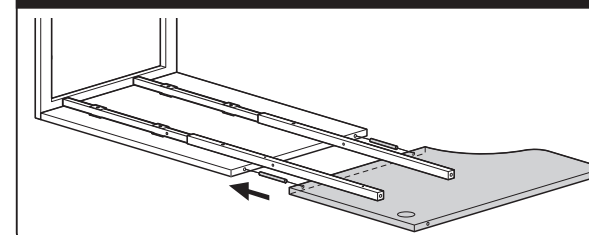


6 天板Aに天板Bを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

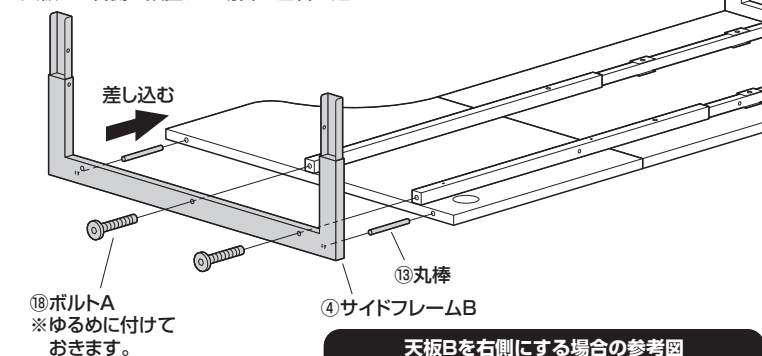


天板Bを右側にする場合の参考図

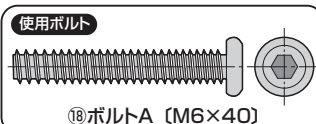
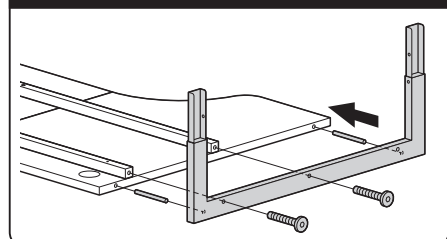


7 サイドフレームBを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。



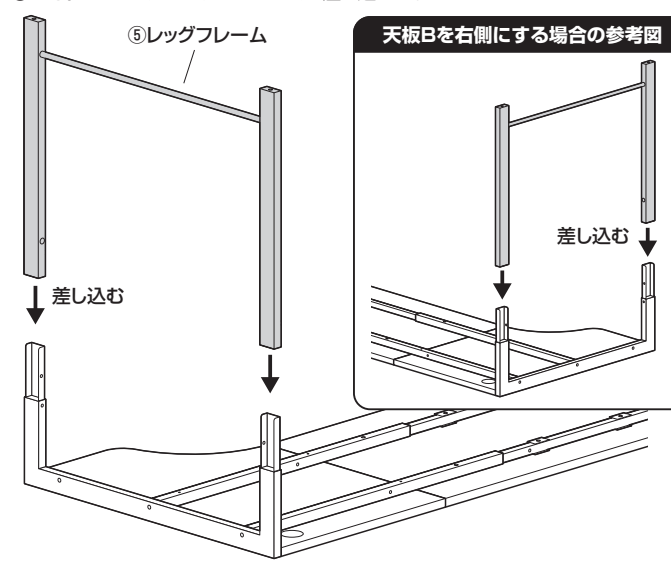
天板Bを右側にする場合の参考図



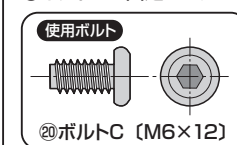
8 サイドフレームBにレッグフレームを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

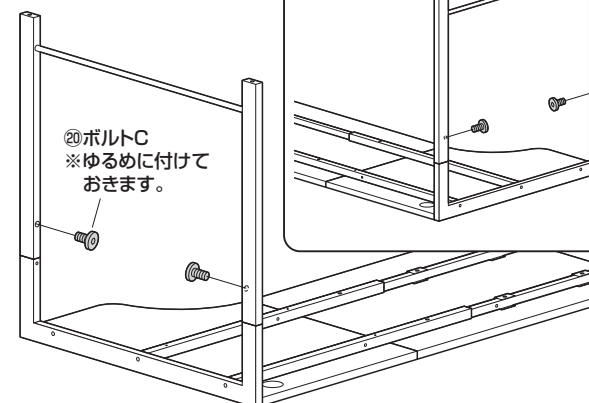
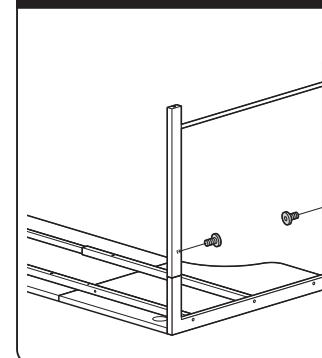
①サイドフレームBにレッグフレームを差し込みます。



②ボルトCで固定します。

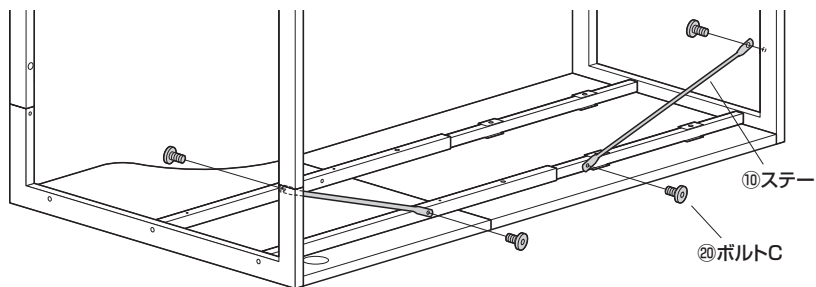


天板Bを右側にする場合の参考図



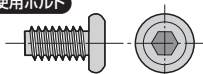
9 ステーを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。



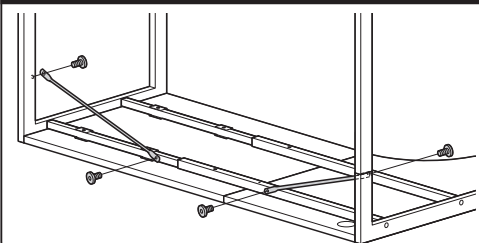
六角レンチ(4mm)を使用し、ゆるめに付けていた全てのボルトをしっかりと締め付けて固定します。

使用ボルト



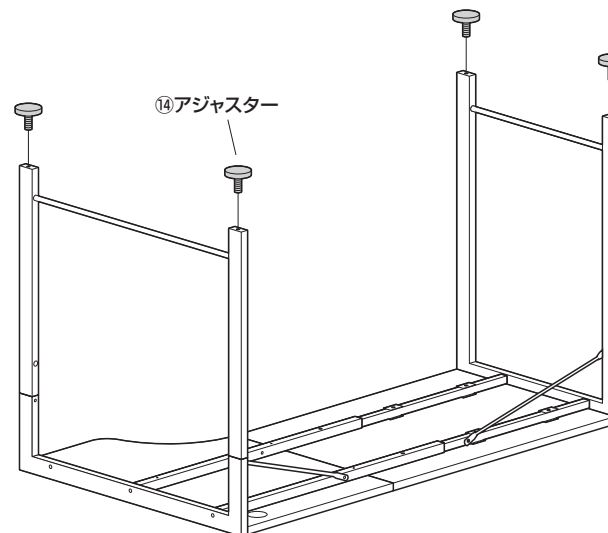
⑳ボルトC (M6×12)

天板Bを右側にする場合の参考図

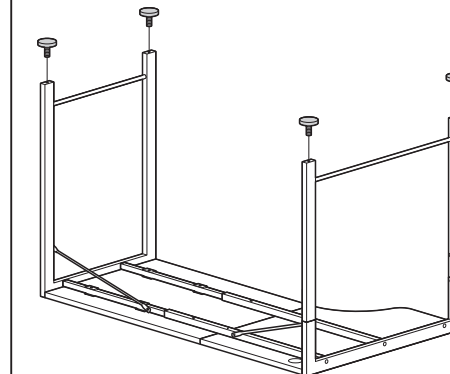


10 アジャスターを取付けます。

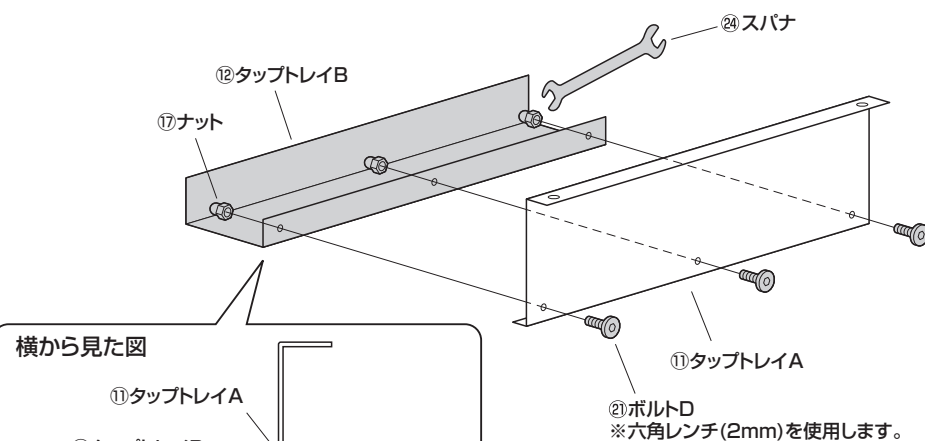
※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。



天板Bを右側にする場合の参考図



11 タップトレイAにタップトレイBを取付けます。



横から見た図

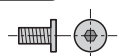
①タップトレイA
⑫タップトレイB

タップトレイAが下になるように取付けます。

①タップトレイA

②ボルトD
※六角レンチ(2mm)を使用します。

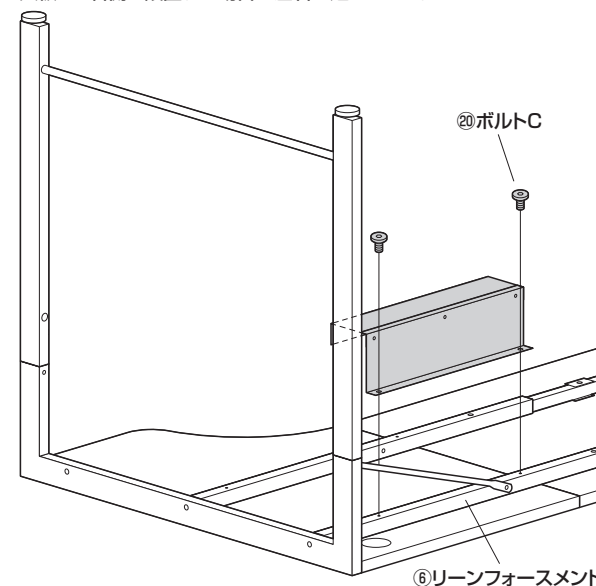
使用ボルト



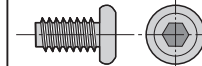
㉑ボルトD (M3×6)

12 リーンフォースメントAにタップトレイを取付けます。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

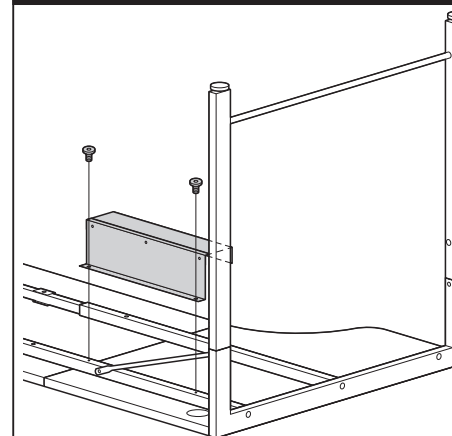


使用ボルト

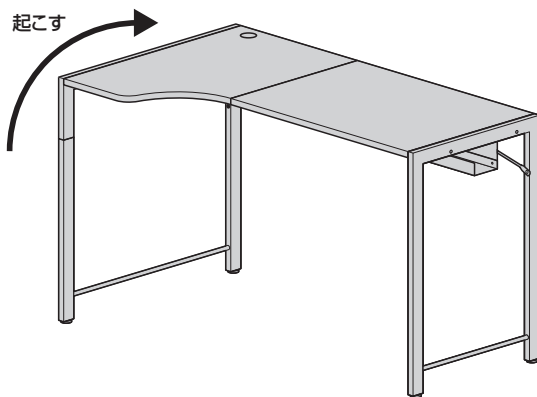


㉑ボルトC (M6×12)

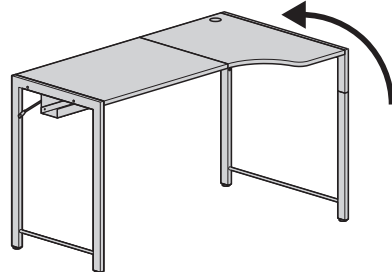
天板Bを右側にする場合の参考図



13 デスクを起こします。

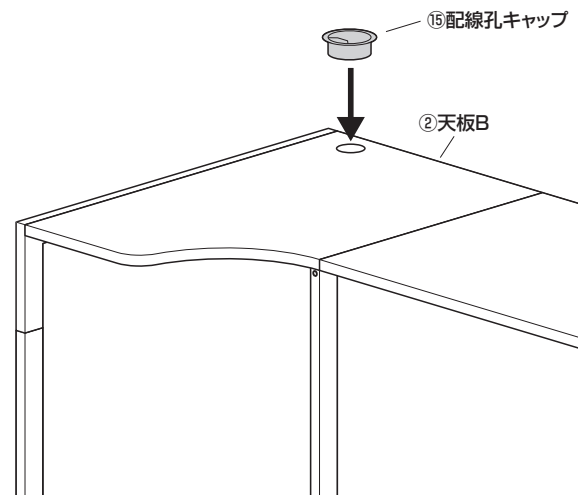


天板Bを右側にする場合の参考図

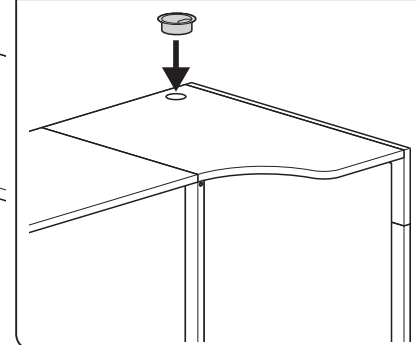


14 天板Bに配線孔キャップを取付けて完成です。

※下記の図は天板Bを左側に設置する場合のイラストになっています。
天板Bを右側に設置する場合は左右が逆になります。

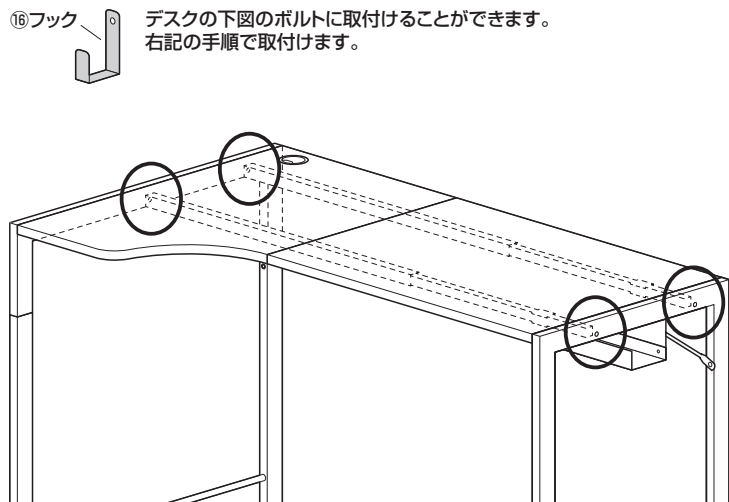


天板Bを右側にする場合の参考図

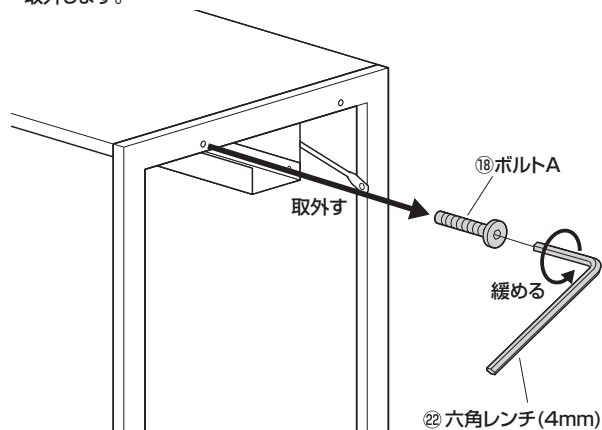


フックの取付け方法

⑬フック デスクの下図のボルトに取付けることができます。
右記の手順で取付けます。

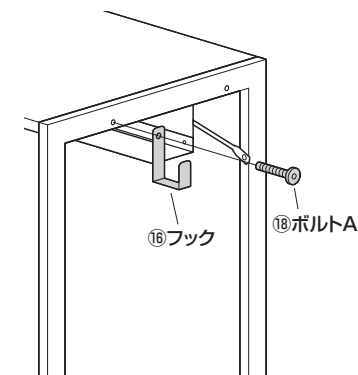


①リーネフォースメントを固定している中から、任意のボルトAを取外します。



②フックを取付けます。

<外向きに取付ける場合>



<内向きに取付ける場合>

